

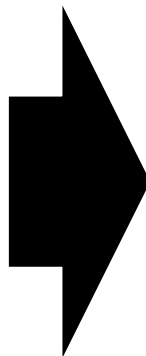
「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プラン 令和4年の取組状況及び令和5年の取組方向

(1) 令和4年の取組状況

項目(プラン体系)		令和4年の主な取組	取組状況
意識づくり 一人一人の「犯罪抵抗力」を育む対策	犯罪情報等の発信・共有	○ 多様な広報媒体を活用したタイムリーな情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 防犯指針の新規策定及び見直し、減らそう犯罪情報官によるテレビ・ラジオ出演、オトモボリス、メルマガ、ホームページ、SNS(Facebook, Twitter, Instagram, Youtube)、広報紙など多様な媒体による情報発信【県、県教委、警察、マスコミ等】 ● 安全安心に関するメルマガの配信や新聞紙面による積極的な情報発信【中国新聞社】ほか ● 関係機関相互における不審者情報の共有及び情報発信(メール配信など)【県教委、市町、警察】
	自主防犯意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ 効果的な啓発活動の実施 ○ 参加・体験型の防犯講習会等の開催 ○ インターネット利用における防犯意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国地域安全運動を中心とした啓発活動【防犯ボランティア、警察等】 ● 防犯建物部品を活用した参加・体験型防犯教室の開催【県生活安全防犯協会、警察等】 ● スマホ犯罪防止教室の開催【少年補導員、学校等】 ● 大手通信事業者3者・警察合同の犯罪防止教室の開催(令和4年9月末実績:112回)【警察】 ● 学校、企業等に対するサイバー犯罪被害防止教室の開催(令和4年9月末実績:376回)【警察等】 ● 学生防犯ボランティアと連携した自転車盗難防止の広報【警察、県防犯連合会】
	規範意識の向上	○ 学校・地域における青少年健全育成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校における犯罪防止教室の実施【県、学校、警察】 ● あいさつ運動・声かけ運動【青少年育成県民会議、県地域女性団体連絡協議会、学校等】 ● 小学校の授業や市町の行事での地域安全マップづくりの定着を促進【県、PACE福山】 ● 資格を有する講師による「消費生活出前講座」等の開催【広島消費者協会】
地域づくり 地域ぐるみで「犯罪抑止力」を高める対策	子供・女性・高齢者等の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯指針を踏まえた防犯活動の推進 ○ 子供・女性の犯罪被害防止対策等の推進 ○ ストーカー被害・配偶者暴力被害に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 登下校を中心とした定期的な見守り活動【学校、防犯ボランティア等】 ● 子供・女性の安全確保対策の推進【県、県教委、市町、警察、県防犯連合会、県地域女性団体連絡協議会等】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通学路の安全点検の実施と要注意箇所の把握・周知(令和3年度実績:小学校100%,義務教育学校100%,中学校98.6%,高等学校85.4%) ・ 「登下校防犯プラン」に基づく合同点検の実施 ・ 防犯マニュアル「犯罪から身を守る女性の知恵」の作成・配布 ● セーフティ・ステーション活動を通じた子供・女性の保護【広島県コンビニエンスストア防犯連絡協議会等】 ● DV防止に係る啓発活動及びDV被害者等の一時保護の実施等【県、警察等】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 休日・夜間電話相談の実施(令和4年6月末実績:253件)、一時保護の実施(令和4年6月末実績:19件)
	持続可能な自主防犯活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯ボランティア団体等の活動の活性化・定着化 ○ 青色防犯パトロール活動の支援 ○ 防犯リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症高齢者等の支援に係る警察署と市町の相互連携協定に基づく情報提供【市町、警察】 ● 高齢者対象の特殊詐欺対策の推進【県、市町、警察、広島県コンビニエンスストア防犯連絡協議会、広島県金融機関防犯組合等】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係事業者と連携による水際阻止対策の強化・徹底(金融機関、コンビニエンスストア、宅急便取扱店舗等) ・ 県内コンビニエンスストア全店に電子マネーカード購入者用特殊詐欺注意喚起封筒を配布 ・ 防犯機能付き電話の設置促進に向けた広報(府中市、呉市、府中町、東広島市、江田島市、三原市、大竹市、福山市において、購入・設置等補助事業を実施) ・ 元広島東洋カープの達川光男氏を起用した特殊詐欺防止の広報 ● 高校生による特殊詐欺被害防止動画(CM)の募集と広報への活用【警察、県防犯連合会】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月に表彰式を行い、広島駅南口地下広場大型ビジョンやテレビスポットCM等で放映 ● ふれあいサロン等地域住民による高齢者を地域で見守る共助体制の整備【県、社会福祉協議会ほか】
	事業者による防犯対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯CSR活動の促進 ○ 職場防犯リーダーによる情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小中学校の見守り、校内巡回【少年補導員】 ● 青色防犯パトロールによる自主防犯活動の推進【県防犯連合会、警察】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体数:169団体、車両台数:1,063台(令和4年9月末現在) ● 「安全・安心アカデミー」の開講による安全なまちづくりリーダーの育成【警察】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度実績:府中市、広島市東区で実施 ● 大学生ボランティアを対象とした研修会の開催【警察】
	健全で魅力あるまちづくりの推進	○ 健全で魅力ある繁華街・歓楽街の形成	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者が地域社会の一員として主体的に取り組む防犯CSR活動の促進【広島電鉄、警察ほか】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場防犯リーダーモデル事業:404事業所、810人(令和4年9月末現在) ・ 「モシカ号」ラッピング電車の運行、電車の各停留所に防犯ポスターを掲出
	防犯に配慮した生活空間の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪の防止と安全の確保に配慮した道路等の整備 ○ 犯罪の防止に配慮した住宅の普及 ○ 防犯カメラ等の設置促進 ○ 犯罪の起こらない店舗づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「第3次流川・葉研堀地区の健全で魅力的なまちづくり推進計画」に基づく取組の推進【流川・葉研堀地区の健全で魅力的なまちづくり推進協議会】 ● 流川・葉研堀地区における街頭防犯カメラシステムの運用【地元町内会、警察】 ● 車道と歩道の分離等歩行者の安全確保に向けた歩道等の整備、道路照明・防護柵の設置など【県】 ● 防犯モデルマンション登録制度等の普及促進【県防犯連合会、県生活安全防犯協会、警察】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯モデルマンション:375件、防犯モデル駐車場:4件、優良防犯住宅:2件(令和4年9月末現在) ● 市町、事業者、町内会等による防犯カメラの設置拡充【市町、警察】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯カメラ設置補助事業の実施(広島市、福山市、呉市、三原市、廿日市市、東広島市) (令和3年度実績:市町設置2,281台(前年度比79台増)、補助金による設置698台(前年度比71台増)) ● 「万引き追放宣言」など万引きされにくい店舗環境整備の推進【百貨店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、警察など】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 万引き追放宣言:2,467店舗(令和4年9月末現在)
	安全安心を支える体制と基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 連携体制の整備・強化 ○ 犯罪被害者等への支援の充実 ○ 薬物乱用防止対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「減らそう犯罪」推進会議の開催【県民、事業者、関係団体、行政等】 ● 犯罪被害者等基本法に基づく犯罪被害者支援の推進【県、警察等】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪被害者等支援総合窓口や被害者ワンストップセンターひろしまの運営、市町担当職員研修会の開催、各種広報啓発など ● 犯罪被害者無料電話相談等の実施【弁護士会等】 ● 「広島県薬物乱用対策推進本部」による総合的な薬物乱用対策の推進【県など関係21機関・団体】
	多文化共生を可能とする社会基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 在留外国人等の相談窓口の拡充と利用促進 ○ 在留外国人の地域活動参画の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人実習生等を対象とした防犯・交通安全教室の開催【事業者、警察】 ● 通信指令・通報者及び部内通訳者を繋いだ三者同時通話体制の整備【警察】
観光客の安全確保に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光事業者等との連携による防犯情報の提供 ○ 観光地における安全な公共空間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光HPにおいて外国人観光客向けに防犯情報を提供【県、警察等】 ● 観光地を中心とした防犯カメラ、防犯灯などの防犯設備の整備促進【警察】 ● 観光地を管轄する交番、駐在所及びパトカー勤務員等によるパトロール及び駐留警戒活動の強化【警察】 	
安全なサイバー空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマートフォン等のフィルタリングの利用促進 ○ サイバー空間における浄化活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネットの適正利用に関する講習会への講師派遣【県、学校、警察】 ● 違法情報取締りや児童ポルノ事犯等有害環境浄化事業による浄化活動の実施【警察】 ● 県内大学生等へのサイバー防犯ボランティア委嘱(令和4年9月末実績:226名)及び県民への啓発活動やインターネット上の違法・有害情報の通報等によるサイバー空間の浄化活動の推進【警察】 	

令和4年の取組を踏まえた現状と課題

- ◎ 特殊詐欺被害の認知件数及び被害額が、高齢者を中心に架空料金請求詐欺などの被害の多発により増加している。
- ◎ 通学路等における子供の安全確保が求められる中、防犯ボランティアは高齢化し、減少傾向にある。次世代ボランティアの育成や「ながら見守り」の普及などの子供の見守り対策が急務となっている。
- ◎ 減少傾向にあった刑法犯認知件数が、自転車盗などの多発により増加している。
- ◎ 防犯カメラの市町による設置又は補助金を活用した民間設置は進みつつあるが、補助金制度を設けている市町は一部にとどまっている。
- ◎ インターネットの利用に係る犯罪は、特殊性と専門性が高いことから、適切な利用方法など被害に遭わないための対策が必要となっている。



(2) 令和5年における基本的な取組方向

- 1 特殊詐欺被害の抑止**
 - 多様な主体による特殊詐欺被害の抑止対策の推進
- 2 子供・女性・高齢者等の安全確保**
 - 事業者による「ながら見守り」の推進など防犯CSR活動の促進
 - 地域ぐるみで子供・女性・高齢者等を犯罪から守る環境の構築と取組の強化
- 3 不安を感じる犯罪の抑止**
 - 自転車盗などの不安を感じる犯罪に関する効果的な情報発信
 - ガイドラインに基づく防犯カメラの設置促進
- 4 インターネット利用犯罪被害の防止**
 - サイバー犯罪への抵抗力の強化
 - スマートフォン等のフィルタリングの利用促進

プランに基づく取組を引き続き推進

重点項目